



市議会ホームページ
QRコード

議長・副議長をはじめとする新たな議会人事を決定 義務教育就学児の医療費助成 小学3年生まで所得制限撤廃

平成29年第2回定例会は、5月10日から6月1日までの23日間の会期で開催し、市長提出議案31件、推薦1件を議決しました。(結果は7頁に掲載)

また、議長・副議長等の選挙や各委員会の委員選任等を行い、議会の新たな人事を決定しました。(8頁に掲載)

一般質問では、5日間にわたり、22名の議員が市長等と活発な議論を交わしました。(2～6頁に掲載)



真姿の池(西元町1-13)

義務教育就学児医療費助成制度の 小学3年生までの所得制限撤廃議案を可決

「国分寺市義務教育就学児の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例」は、小学1年生から中学3年生までの義務教育就学児医療費助成制度において、小学3年生までの児童を養育している者の所得制限を撤廃し、制度を拡充するために条例改正を行うというものです。

文教子ども委員会では「今回の所得制限撤廃年齢の拡大は評価するが、区部においては所得制限がすべて撤廃されている。今後とも制度拡充のために尽力いただきたい」との質疑に対し、担当より「当市の一部所得制限撤廃は、市部26市で8市目となる。今後、区部との格差是正に向けて東京都に対し要望を行うとともに、市長会を通じて国に対しても、国の制度として創設することを要望していく」との答弁がありました。また「全対象者が本制度利用のための申請をしていただくように周知を徹底していただきたい」「本改正は小学3年生までの段階的拡大であるため、本改正外の対象者には不公平感が残る内容となる。早急に制度内の全対象者が所得制限撤廃となるよう制度拡大の方針を打ち出すべき」といった質疑がありました。

本会議・委員会とも、採決の結果、全員賛成で可決しました。

マイナンバー条例の一部改正を 賛成多数で可決

「国分寺市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する条例(マイナンバー条例)の一部を改正する条例」は、①行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の改正に伴い、情報提供等記録について、法定事務に限らず、条例で定める独自利用事務の情報連携についても目的外利用の禁止等の対象とする、②情報連携に必要な「条例事務関係情報照会者」を設置した条例改正時に設置する必要がある「条例関係事務情報提供者」を今回の改正で設置する、という2点の改正を行うものです。

総務委員会では「条例事務関係情報照会者と条例事務関係情報提供者の違いは何か」との質疑に対し、担当より「各市が条例で定める事務においてマイナンバーを使用する独自利用事務で、かつ国の個人情報保護委員会に承認されたものが、他市と情報連携ができるというルール。その情報の照会をする市等が条例事務関係情報提供者。提供する市等が条例事務関係情報提供

者である」との答弁がありました。

また、改正漏れに対する指摘に関し「主管課と法務担当の連携の上、不備のないようチェック体制を今後強化する」との答弁があり、さらに「独自利用事務の設定によっては今まで得ていなかった個人情報を集めることになるのではないか」「国や自治体間の関係性が広がる中でプライバシーが漏れないようチェック対応・セキュリティ対策をしっかりと行ってほしい」といった質疑がありました。

本会議・委員会とも、採決にあたり「個人情報・特定個人情報の漏えいを危惧する声がある中で、独自利用事務に位置づけた部分の情報保護を強化するための整理は、もともとされておくべき問題。情報提供ネットワークシステムを本格運用するに当たり、各自治体が今まで以上に特定個人情報等を集積することは明らかだ。総務省のサイトが攻撃を受け、同省は今後自治体を狙った攻撃の増加やその攻撃の仕方も様々変化することを示している。特定個人情報を含めた個人情報を100%守ると言い切れない中で情報共有ネットワークシステムの規定を整える本案に反対する」との反対討論があり、採決の結果、賛成多数で可決しました。

議長 木村 徳

この度、議員各位のご推挙を頂き、第29代議長に就任致しました。国分寺市議会52年の歴史の、良き伝統は残していく一方、変えるべきものはしっかりと改革していく決意でございます。

本年度は、新たな8カ年の長期計画である、国分寺市ビジョンもスタートし、長年の課題であった国分寺駅北口再開発事業における再開発ビルも竣工予定です。また新可燃ごみ処理施設も、建設地である日野市のご協力により着工が予定されております。様々な局面で節目の年度であります。市議会の果たすべき役割を今一度認識し、二元代表制に基づく行政のチェック機能としての権能と、基礎自治体議会として市政に市民の声を届け、実現していく提案機能をしっかりと発揮できる議会運営に尽力していく所存です。

市民の皆様におかれましては、市議会への一層のご理解とご協力を賜りますようお願いを申し上げます。議長就任のご挨拶とさせていただきます。



就任にあたって

副議長 田中 政義

この度、議会の選出により、副議長に就任することになりました。身に余る光栄でありますと同時に職責の重さを痛感し、身の引き締まる思いです。議長を補佐しつつ、議会として行政へのチェック機能を発揮し、共に公正な議会運営に取り組んでいく所存です。

今日、社会経済情勢の変化や地方分権の進展などにより行政の役割が拡大する一方、安定した財源確保が難しく、本市においても厳しい財政状況の中、多くの課題が山積しており、それらの解決に向けた市政運営が求められています。

市議会といたしましては、住民福祉の向上、市政発展のために、市民の代表として議会が果たすべき役割を十分認識し、その負担に応えるべく、謹厳実直に議会の責務を果たしてまいります。

市民の皆様におかれましては、一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任の挨拶とさせていただきます。



市政を問

平成29年 第2回定例会 一般質問の質問事項・答弁の要旨

内容は各議員が一定のスペース内で自由にまとめたものを一般質問が行われた順番に掲載しています

交通安全対策は市民の命を守る重要課題!!



自民党新国会 吉田 りゅうじ

▼庁内情報システムの現状と今後の最適化方針

【問】情報は適切に保存・管理・流通することが肝要、運用体制など現状の問題点と課題は？

【答】平成27年に発生した日本年金機構の情報流出事案を受け、情報セキュリティの強化と端末やネットワークの統合等すべき対策山積。

【問】職員が利用する庁内のパソコンやサーバ、プリンタ等機器の性能や信頼性の向上は、ひいては市民サービスに繋がると考えるが如何か。

【答】新庁舎建設の方向性が見えてきた時点で情報化推進計画を見直し、その中で端末やネットワークなどの仮想化を含むシステム設計や導入スケジュールについて具体化していきたい。

▼交通安全対策について

【問】4/1組織改正にて交通対策課が新設され交通安全の計画及び推進と啓発や普及に関することが主務と考えるが各種団体との関係は？

【答】小金井警察署交通課はもとより、交通安全協会、更に交通安全対策は市の共通重要課題と捉え庁内各部署と連携を図る。また、国分寺市交通安全対策協議会が条例で規定され、交通事故防止と交通安全運動の推進を図るために設置されている。今年度は「国分寺市交通安全計画」の策定に向け所掌事務を推進して貰う予定。

▼2020東京五輪に向けた国分寺市の取組み

【問】昨年のリオ五輪終了時から東京五輪は始まっている。国や都の補助金等を積極的に活用し体育協会も大いに活用して国分寺市民が東京五輪参加の実感を味わって欲しいがどう考えるか？

【答】2020東京パラリンピックで正式種目となる「パラバドミントン」の世界選手権でベスト8の成績を取めた山崎悠麻氏は国分寺市出身。こういう選手との交流やオリパラ教育を通じて五輪参画意識の向上を図っていきたい。

武力攻撃事態に備えて市の対策強化を



自民党新国会 新海 栄一

新海) 北朝鮮が不穏な動きをしている。市は平成19年に武力攻撃事態に備えて国分寺市国民保護計画を策定している。緊急時の市の対応は。総務部長) 緊急時には市長の判断でまず災害対策本部を設置する。有事の際には国から都を通じて国民保護対策本部設置の指定があります。市としては市民への正確な情報発信を第一に、全庁的な対応が必要ですので、通常業務は一時中断して全職員が対策本部の活動に当たります。新海) いつ有事が発生するかわからない状況である。避難行動などの周知徹底もお願いしたい。新海) 西国分寺駅東口開設の要望が増えている。東口については昭和61年頃より計画が進められ62年には西国分寺駅周辺広域調査委員会が発足。

平成5年市民文化会館を中心とする事業化について検討開始。6年西国分寺駅東地区第一種市街地再開発事業地区採択。8年代替地取得開始。9年2月用途地域・防災地域等・高度地区の変更、泉町地区地区計画決定と順調に進んだが、7月山崎市長当選により都市計画審議会への諮問が取下げられ、東口開設は混迷をきわめる。この間の駅舎と西国分寺駅東口改札の検討は。

まちづくり部長) 東口開設に向けては平成6年から13年にかけて駅舎と南北自由通路設置の調査を実施、この結果をもとにJRと協議したが、乗降客数と現駅舎の規模から既存の改札で充分。東口開設なら全額市負担との見解が示される。新海) 試算では通路9億円、駅舎14億円となっている。東口は泉町の駅前広場側出入口だけでなく、恋ヶ窪の鎌倉街道につながる出入口も必要、この間はかなり離れているので通路だけで試算以上の金額がかかる。両出入口にかかる駅舎に商業施設の誘致も含め、民間、都の協力を得て新しい形の改札開設を考えていただきたい。

骨髄バンク支援制度・二小教室不足について



国分寺政策市民フォーラム だて 淳一郎

骨髄バンク普及啓発支援について

だて) 骨髄提供の際に数日間の入院が必要なため、経済的な問題や会社を休めない等の理由で提供を断念するケースがある。現在、全国的に広がっている、ドナーと勤務先への助成制度を本市においても導入することを求める。市) 入院時にドナーに1日2万円、勤務先に1万円を助成する制度は本市でも認知している。近隣市等の状況を踏まえながら検討する。

第二小学校の教室不足について

だて) 二小はクラス数の増加により、余裕教室が無い状況。来年度以降の見込みについて伺う。市) この二、三年は現状で対応できる想定だが、転入出は読めないため、慎重な検討が必要。

だて) 増改築も視野に早めの対応を要請する。市) 現段階では増改築の予定はないが、東京都の児童推計等も精査しながら、早めに動きたい。

認可保育所の誘致・小規模保育について

だて) 今年度の待機児童は92名。更なる保育所誘致に向け、都有地などの活用状況を伺う。

市) 市としても、東京都に都有地活用の要望は出しているがまだ具体化はされていない。

だて) 0歳から2歳までに特化した小規模保育所への要望は非常に強いが検討の状況を伺う。

市) 現在行っている計画の見直しで、小規模保育所の取組み追加を検討していく。

市内武道の普及啓発について

だて) 他のスポーツと同じく、各種武道を行う施設環境は厳しい。各団体の声を聞き、市としても伝統文化である武道競技の発展に向けての支援を行って頂くよう要望する。

市) 施設の新設は難しいが、競技用マットのような備品等で活動環境の改善につなげられるか、各団体の意見を聞きながら検討して参りたい。

安心して、楽しく外出できるまちづくりを!



公明党 なおの 克

●自転車活用推進法について

問) 本市は自転車関連事故が多く、一層の安全対策を求めるが如何か？

市) マナーアップのスケアードストレートの実施や自転車専用カーブミラーの設置等を考える。

問) 本市においてもシェアサイクル(レンタサイクル)の導入の検討を頂きたい。

市) 観光促進、近隣市広域的な連携による可能性もある。全庁的に研究を行っていきたい。

●空き家対策について

問) 自治会の拠点、防災備蓄場所の確保等、活用の期待も高い。空き家活用を考えて頂きたい。

市) まずは自治会等のニーズ把握を行うために、関係部署とも相談をしながら対応の検討をする。

●若者の政策形成過程への参画について

問) 若者の「夢」を支援できる施策を求める。

市) 若者の意見が市政に反映できるような仕組みを評価しながら進めて参りたい。

●史跡資源の活用について

要望) 国分寺の魅力発信に繋がる史跡調査の発掘体験等、事業化に向けた検討を求めたい。

次ページに続く▶

シリーズ

国分寺市議会③ 議員報酬は

地方議会の議員の職務遂行に対する対価として支給されているのが「議員報酬」です。報酬額や支給方法は、自治体ごとに条例で定められています。

国分寺市の議員報酬額は右表のとおりとなっており、期末手当の支給についても自治体ごとに異なっています。国分寺市の期末手当を含む議員年収は多摩26市の中でも、議長は19位、副議長20位、議員19位と低い額です。

また、議員がその身分を失う場合に退職金の支給はなく、地方議会議員の年金

制度は、平成23年6月をもって廃止されたため、受給資格のない者には、年金の支給もありません。

議員報酬(平成29年5月31日現在)

Table with 4 columns: Position (議長, 副議長, 議員), Salary (国分寺市議会), Average Salary (多摩26市議会平均), and Average Salary (東京23区議会平均). Rows include monthly and annual salaries for each position.

●子育て支援について

問) おむつ替え、授乳スペースが分かる**子育て支援アプリの導入**について、その後の進捗は？
市) **予防接種アプリ**を10月目途に導入予定。その他の機能に関して、子育て全般に有効な情報が発信できるよう関係部署と調整していきたい。
問) 更なる**保育士の処遇改善、満足度向上**に努め、待機児解消を目指して頂きたいが如何か？
市) **保育士の宿舎借上げの補助等**を含め、今後も処遇改善を進めて参りたい。

●国分寺駅周辺地区まちづくりについて

問) 今後**アンケート調査**をどう進めていくか？
市) 本定例会後、地権者等を対象に実施する。

地域活性化めざし
スピード感ある事業展開を

公明党 さの 久美子

1. 民間との連携について

さの) 地域の一層の活性化をめざす為にコンビニとの「**地域活性化包括連携協定**」早期締結とAED配置を求める。市) この協定は市民サービス向上に寄与するものと考え。AED設置も含め、早期締結をめざし、庁内協議を進める。
さの) 郵便局と「**地域における協力に関する協定**」の締結を求める。市) 高齢者の見守りだけではない幅広い協定。早期締結をめざしたい。

2. 認知症対策について

さの) 認知症サポーターになられた方の次のステップ作りが重要。地域の人材として活躍できる制度構築を。市) 介護支援ボランティア等へのお誘いなど、各事業に参加を呼びかける。また、3年に1回キャラバンメイト養成講座開催を次期高齢者保健福祉計画に盛り込みたい。

さの) 消防署職員の受講や小学校開催拡充を。
教育長) ボランティアマインド育成の視点からも進めていきたい。
副市長) 積極的に取り組む。

3. 地域コミュニティについて

さの) 自治会加入率が低下している。自治会加入の後押しのために会員対象の特典付きのカード作成の検討を求める。市) 関係団体との協議が必要。行政主導で研究をしながら考えたい。

4. 安全・安心のまちづくりについて

さの) 窪東公園のマンホールトイレの表示をすべき。また、自助としての簡易トイレ備蓄の周知を。市) 市内のマンホールトイレの表示は考えたい。各家庭での備えは周知広報したい。
さの) **女性の視点の防災**として、誰でもできるパッククッキング等の講演会開催を。市) 災害時有効である。さまざまな場面で紹介したい。
●**建築中の大型集合住宅へのごみ対策**について
集団回収の提案等、資源化推進策を求めました。

「これから」を見据えた
施策・財源配分を

自民党新政会 丸山 哲平

国3・2・8号線沿道の環境整備について

丸山) 3月に一部開通した本道の沿道部分(環境施設帯)の整備計画はどうなっているか。
建設環境部長) 植栽、歩道の仕上げ等、平成30年度をめどに完了させる予定である。
丸山) 近隣住民より落ち葉や歩道の安全面で多くのご懸念が寄せられている。住民の意向を踏

まえ東京都へ要望して欲しい。また同道に接続する市道部分も看板や道路上表記について不十分と思われる箇所が複数箇所ある。市の管轄部分については早急な点検、改善を求める。

ぶんバスについて

丸山) 万葉・けやきルートがスタート。これまでのぶんバス事業を「創設期」とすれば、今後は「維持・発展期」と捉えるべき。赤字上限のラインを設け、各路線毎の対策(料金体系、運行事業者との取決め、近隣住民への広報等)を進める、すなわち「経営」を行う必要がある。建設環境部長) 意見を踏まえ、検討して参る。

教育・学習支援について

丸山) 世帯収入の多寡が原因とされる子供の学力格差が問題になっている。特に受験期は短期間に集中的な学習を要し、貧困の連鎖を止めるために手段を講じる必要がある。現在東京都では受験生チャレンジ支援貸付事業があるも、その基準は厳しいものと考え。まず都に対し条件の緩和と範囲の拡大を求めると共に、市として何が出来るか検討を進めるべき。私は一定の条件下にあるご家庭に「教育バウチャー」を配布する等の支援を行うべきと考えるがどうか。福祉保健部長) 都へ要望して参りたい。また市として生活困窮世帯への受験期に特化した支援につき潜在的なニーズ含め研究して参りたい。

その他) ふるさと納税、防災備蓄品等質問。

「ヘルプマーク」推進は
命の尊さ学ぶ機会にも

公明党 高橋 りょう子

(1) 健康推進施策について

①若い年代からの健康診断受診は重要で若者の利用し易い電子申請を提案してきたが進捗は。又家族や雇用主が働きかける等勧奨の依頼を。
市) 以前からの指摘を踏まえ本年5月、25~39歳の電子申請受付を開始。情報提供にも努める。

②乳幼児の予防接種予定を自動作成するモバイルサービスとお知らせメール配信の進捗は。
市) 提案を受け10月から自動配信を開始する。

③国分寺の野菜を使った人気の給食や天平メニューなどの動画配信に取り組んでは如何か。
市) 食育推進の視点で庁内連携し研究したい。

(2) 安全安心対策について

千葉県での児童殺傷事件を受け更なる見守り強化の声が。又防犯まちづくり委員卒業者に青色防犯車両でパトロールするなど協力依頼をしては。
市) 学校と地域で築いてきたボランティアとの信頼関係に感謝し引続き登下校を見守っていく。貸し出せる庁用車両のパトロールも研究したい。

③国分寺の野菜を使った人気の給食や天平メニューなどの動画配信に取り組んでは如何か。
市) 食育推進の視点で庁内連携し研究したい。

(3) 子育て支援・学童保育について

出勤時間の早い保護者と家を出る始業前の児童の居場所や高学年の学童保育受入など検討を。
市) 教室の余裕がなく課題を整理し研究する。

(4) 障がい者支援ヘルプマークについて

障がいやサポートの必要な方を認識する為のヘルプマークは、個性の違いを学ばいじめ防止教育にもなる。市民への周知にも工夫を。
市) 29年度東京都の補助金を受け秋頃配布予定。教育現場や市民にもマークの趣旨を周知する。

(5) 市民サービスについて

①自治体オリジナルの記念に残る婚姻届導入を。
市) 他市の取組み事例を参考に研究してみる。

その他: ①国分寺産古代米赤米の普及啓発を。
②対象者に考慮した成人式開始時間の検討を。

農と食でつながる
地域コミュニティを!

国分寺・生活者ネットワーク 高瀬 かおる

◆「住まい・医療・介護・予防・生活支援」を一体的に提供する「**地域包括ケアシステム**」の構築は、複合的な困難を抱える世帯が増えていることから、全庁的に取り組むことが重要だ。
(答) 地域福祉計画の「誰もが共に認め、支えあい、自分らしく暮らせるまち」という基本理念と同じ方向性だと考える。庁内の地域福祉推進委員会で意識の共有を図っている◆**福祉の総合相談窓口**の進捗状況は？(答) 第二庁舎1階に、福祉保健部、子ども家庭部が連携し、ワンストップで相談を受けられる窓口を整備した。地域には、既存の相談体制と施設を活用するような形で年度内に試行的に実施することを考えている◆**病院では早期退院が促進されているが、地域に在宅を支える環境がなければ生活は成り立たない。今年度開設する「在宅医療・介護連携相談窓口」の機能**について問う(答) 支援体制が十分に整わないまま退院され、在宅復帰後に地域包括支援センターやケアマネジャーが奔走することも少なくない。窓口は、退院後の地域の支援チームをマネジメントする機能をもって医療機関の調整を行う。また、窓口を通して把握された地域の課題やニーズを共有し、今後の在宅医療・介護連携のあり方や地域包括ケアシステム体制の構築に向けた施策の検討につなげる(問) ご本人や家族が安心して在宅に戻れるように、病院と地域の関係機関がお互いの現場の状況を理解しあうことが重要だ。連携体制づくりを求める◆(仮) **こくベジファーマーズパーク**の検討が行われているが、子どもも高齢者も障がい者も分け隔てなく農体験ができ、収穫物や加工品販売、イベント開催等、農福連携の視点を持って検討すること提案◆**委託型協働事業**への参加の裾野を広げる取り組みを求めた。

耳をかたむけ、
まちづくりを推進

自民党新政会 尾作 義明

●史跡整備について

尾作) 国では史跡の保存だけでなく近年は活用についても発信をはじめている、その整備方針はどの様になっているのか?資料館、トイレなどを用地に設置できないか?(部長) 基本的に史跡の整備、保存を目的とし、活用としての転用は認めていただけない。(尾作) ぶんバス万葉・けやきルートの西元町の転回場の周辺が「ようこそ」という雰囲気でない。植栽など周辺の景観整備は出来ないか?(部長) 現在、新整備基本計画で事業を進めている。金堂整備が終わった後、植栽についても遺構を傷つけない花木、草花などで環境を整えるように考えていきたい。
都道国3・4・1号線(もとまち通り)について
(尾作) 都第4次事業化計画の位置づけは?

(部長) 国3・4・11号線から府中街道までの間の廃止を見据え計画内容再検討路線として位置付けている。また、国分寺街道から国3・4・11号線を東西に結ぶ80mの区間を優先整備路線とし市施工
次ページに続く▶

で平成31年事業認可取得に向けて進めたい。
 (尾作) 計画が廃止となった場合、周辺の生活道、防災上の課題については如何か？ (部長) 周辺都市計画道路の整備によって通過交通は減少する認識。一方、災害時等の対応や歩行環境の改善を図る必要がある。この夏頃を目途に交通環境を含め「史跡周辺のまちづくり」について、地域の方々の意見を聞く機会を設けたい。

●都道国3・4・11号線、不動橋以南については平成37年事業化を目途とする。また、道路整備には架橋が必要だが野川整備の進捗に関わらず、整備が進むことを確認した。その他、野川整備では治水の観点から早急な整備を求め、待機児童問題は個々のニーズの把握を、インフルエンザ対策では庁内、市民への新たな対応を求めた。

人口減少待ったなし 未来を見据えた国分寺を



自民党新国会 本橋 たくみ

●井澤市政4年間の総括について

市長就任以来財政再建に取り組み、庁舎基金の約40億円の積み増しなど大変評価できる。市長自身の評価を問う。市長) 市民のための市政運営を念頭におきながら様々な改革を行ってきた。これからは課題を一つずつクリアしながら市政を前に進めていきたい。

●市庁舎の建設について

本橋) 今年度の庁舎建設に向けた取り組みについて問う。市) 6月から順次、新庁舎建設に向けた市民懇談会を行い市民の意見を募っていく。

●人口減少問題について

本橋) 出生率向上の取り組み、多世代同居の取り組み、待機児童の取り組み等を進めていながら、それぞれの自治体の努力で人口減少に歯止めをかけていく必要があると考えるが市の認識を問う。市) ご指摘のとおりあらゆる政策を組み合わせながら努力をしていく。

●インバウンド政策について

本橋) 2020オリンピックに向け市でもインバウンド政策を積極的に進め、市の魅力を外国人観光客に広めていく必要があるが市の認識を問う。市) 市としても力を入れていく。

●スポーツ施設について

本橋) けやき運動場の人工芝化を強く求めてきたが市の認識を問う。市) 必要性は認識している。今後も財政面を考慮しながら進めていきたい。

●西国分寺駅北口の再開発について

本橋) 再開発を含め西国分寺駅北口の駅基盤の整備を行っていく必要がある。市) 市としても駅基盤の強化の必要性を認識し、地権者と協議、調整しながら、北口についての考え方を整理していく。

映像配信について



平成29年第2回定例会の本会議で行われた一般質問と議案審議の様子が市議会のホームページからご覧いただけます。また、次回第3回定例会の一般質問と議案審議のライブ中継・録画配信も行います。ぜひご利用ください。



本会議の動画配信QRコード

子どもたちの居場所づくりは大人の責任で



国分寺・生活者ネットワーク 岩永 康代

■放課後子どもプランの今後 ■岩永 各小学校のPTAを中心とした実施委員会により運営されている放課後子どもプランは、ボール遊びのできる公園が少ない中で校庭を使った貴重な遊び場となっている。また、学童保育所の拡充と合わせて、長期休暇中の子どもの居場所としても充実が求められている。しかし、実施委員会の負担が大きくなっており、運営方法を含めた検討が必要。一小モデルプランも含め、今年度見直しが行われる子ども・子育て支援事業計画に位置付け、計画的に検討・整備すべきでは。 ■次期計画にむけ、準備していきたい。 ■岩永 関わる大人が子どもたちの主体性を尊重し、遊びを保障できるような環境づくりが大切。スタッフがプレイリーダー研修を受けられるよう要望する。

■小学校始業前の子どもの居場所づくり ■岩永 保護者の出勤時間に合わせて、子どもも朝早く家を出て校門の前で開門時刻を待つなど、大人の都合で朝の時間帯に、家にも学校にも居場所のない小学生が増えていると感じる。放課後だけでなく、朝の時間帯にも子どもたちが安心して過ごせる場が必要。始業前の学校施設を活用した子どもの居場所づくりを。 ■岩永 現状では難しい。 ■岩永 実態把握と今後の検討を要望する。

■障がい児支援 ■岩永 障害者手帳を所持せずに障害福祉サービスを利用する子どもが増えている。第5期障害福祉計画の策定にむけたニーズ把握等の対応は？ ■岩永 サービス利用者も対象に含めることを検討する。また、サービス等利用計画の内容も丁寧に把握しながら進めていく。

★緑化推進と地域コミュニティ醸成の取り組みとして、個人の庭園を公開し、オーナーと鑑賞する人が出会い交流するオープンガーデンと、まち中にベンチを増やす取り組みなどを提案。

課題解決に寄り添う 若者支援の体制づくりを



国分寺・生活者ネットワーク 秋本 あすか

◆若者支援 ■秋本 困難を抱える若者からの相談に庁内連携課で課題解決に向けて見届ける支援が機能していない。相談シートの共通化と情報共有や、庁内連絡会での解決への支援検討等、子ども若者計画課中心の体制づくりが必要。若者の地域支援ネットワークづくりの今年度委託に際し、一人一人に寄り添うとの目的は不可欠。ネットワーク各窓口での支援に必要な傾聴等の

次の定例会開催予定

市議会を傍聴してみませんか

平成29年第3回定例会は、9月1日(金)から開会の予定です。
 議会はどこからでも傍聴できます。ぜひ傍聴にお越しください。
 ※本会議は市役所第1庁舎3階議場で、委員会は同委員会室で、午前9時30分から開始予定です。

知識や情報のスキルアップ、研修体制を充実すべき。 ■岩永 従来は役割分担や相談支援の流れが明確でなかった。相談シートを統一化し相談体制の整備を行い、ネットワーク会議を作る中で情報共有を図る。講演会等、研修への事業者の協力も仰ぎノウハウの蓄積を図る。 ■秋本 相談に来られない若者に対しても情報発信が大切。連携課以外からの情報集約やインターネット活用等、若者支援の周知を。居場所支援の課題認識も必要。 ■岩永 若者支援の認知に向け取り組む。

◆交通安全計画の策定に向けて ■秋本 実態に則した計画の充実には、地域の見守り活動をされている方の意見を収集反映するために、9月のパブリック・コメント案決定前に交通安全講話会を開催すべき。通学路の安全も踏まえ、教育との連携は不可欠で、教育主催の学校安全連絡会との合同開催を提案する。 ■岩永 テーマや開催方法について教育とも連携し検討する。計画策定も庁内連携を進める。 ■秋本 障がい者への合理的配慮の視点や、外国人等の課題把握と対策も項目に入れて検討すべき。また交通安全まちづくりの視点で地域の交通安全活動リーダー養成の仕組みづくりを提案する。 ■岩永 課題と受け止め検討する。意見を聞き、市に必要な施策を考えていく。 ◆防災倉庫の中身について、備蓄品への紹介写真の貼付け、貼紙等の事前準備を提案。

公園の設置、 保育士確保策の強化を要望



国分寺政策市民フォーラム 星 いつろう

■キャッチボールをできるような公園の設置を星) 「『ゲームばかりしていないで、外で遊べるような公園がほしい』とは言うものの、キャッチボールをできるような公園が地域にはない。富士本一丁目に子どもたちがのびのびと遊べるような公園がほしい」とのご意見を伺った。公園の設置を求めていきたい。公園における「ボール遊びの自粛」の根拠はなんなのか。

市) 柔らかいボールは禁止していない。スポーツ用の堅いボールは、公園利用のマナーとして、市立公園では規制している。

星) 2011年策定の計画では、富士本一丁目は「身近な公園の整備検討」の対象地域になっている。進捗状況をお示しいただきたい。

市) まずは、市内の公園空白地域の解消を含めた公園緑地整備計画を定め、検討していきたい。

星) お話を伺った皆さんは、大きな子どもたちのキャッチボールが、小さな子どもには危険を伴うということは十分に理解されている。だからこそ、計画の策定にあたっては、「子どもたちにどんな遊び場が必要なのか」について市民のご意見を広く募りながら進めていただきたい。

■家賃補助の拡充で、保育士をしっかりと確保

星) 借り上げ宿舎に暮らす保育士に対する家賃補助がはじまる。「市内居住者」に限定しているが、市外にある宿舎から通う人も対象とすべき。保育所は保育士の確保に苦勞していると聞く。だからこそ、より好条件を設け、法人が保育士を確保しやすい環境を市は整備していくべき。看護師など対象職種も広げていただきたい。市) 財政的負担、他市の状況を踏まえ、今回は市内限定とする制度設計を行った。

星) 保育士の確保は、待機児童を少しでも減らすことにつながる。ぜひ、検討をお願いしたい。

在宅介護の“切札” 24時間訪問介護サービス！



無党派(無所属) 甲斐 よしと

甲斐) 第5期(平成24年4月～)介護保険計画から新規サービスとして、在宅介護の最後の切り札とまで言われた24時間訪問介護サービス(定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービス)が普及せず、供給体制が整っていない現状だ。福祉保健部長) 平成28年度の実績では多い日でも3人の利用にとどまっている。

市域が狭く、高齢者の持ち家率の高い国分寺にこそ、合うサービス。介護離職を防ぐ切札にも甲斐) 一事業所で3人とどまっている現状は供給体制を伸ばしていく策を展開していないからだ。奈良県大和郡山市では23年の24時間訪問介護サービスの一事業者の利用者は101人中17人の介護度が改善した。特養の待機者が大きく減少している。特養でベッド中心の生活ではなく、自宅への回数無制限の巡回サービスと緊急時には夜間も駆けつけ、電話相談もできる。介護度5でも自己負担1割ならば3万円以下で受けられる。

福祉保健部長) 今の3人の利用人数が果たしてどうなのかというところは少し潜在的な需要を確認してみる必要はあると思っています。

甲斐) 24時間訪問介護サービスが、まず知られていない事、供給体制が万全でなければケアマネジャーも紹介するに至らない。利用者が一定数に達しないと事業採算性も得られない。行政がうまく政策誘導して事業者、ケアマネジャー等と研修、研究してゆかなければ道は開けない。福祉保健部長) 7期計画策定に生かしたく思う。成田・羽田等への長距離バス発着を

甲斐) 国分寺駅北口再開発によってできる駅前広場に中・長距離バス、特に羽田・成田空港へのバスの発着をさせられるはずだと求めます。まちづくり部長) 検討していきたい。

防災、介護、教育等 市の重要課題について



公明党 木島 たかし

1・災害対策にさらに万全を期すために

問) 災害時の被災者への心のケアに関する体制強化を。また、想定に基づく訓練等が必要では
答) 市の保健師、看護師、栄養士等(約40名)の体制で初動対応。今後定期的に連絡会を行う

閉会中の委員会等

委員会はどなたでも傍聴できます

第2回定例会終了後、平成29年第3回定例会までの間に開催する委員会等は下記のとおりです。

6月19日(月) 議会運営委員会
7月14日(金) 厚生委員会
7月24日(月) 文教子ども委員会
7月27日(木) 総務委員会
7月28日(金) 建設環境委員会
8月9日(水) 国分寺駅周辺整備特別委員会
8月30日(水) 代表者会議/議会運営委員会
市役所第1庁舎3階委員会室で午前9時30分から開催します。

*詳しくは、市議会ホームページをご参照ください。

問) 集中豪雨への備えをさらに強化すべき。傾斜地である国分寺崖線周辺の対策が重要。
答) 豪雨や台風接近時にパトロール等を強化する。危険箇所には新たな側溝設置等を行いたい。
2・在宅医療と介護の連携を確立するために
問) 連携相談窓口(10月設置)の概要は?
答) 市医師会に事業を委託。主に病院から退院する際に医療機関と連携し、在宅生活を支える仕組みを整える役割を担っていただく。

問) 利用者に寄り添った体制にするため、きめ細かな取り組みが必要。万全を期してほしい。

答) 多職種が連携して地域の支援体制を整える
3・ひとり親家庭等、生活困窮世帯の子どもへの学習支援は「教育」と「福祉」の連携を

問) 「受験生チャレンジ貸付」等、対象世帯への周知徹底を。また、利用者が年々増加している無料学習塾事業は子どもにとって学習のみならず大切な居場所にもなっている。充実を。

答) 大事な視点。より良い取り組みにしたい。

4・都立多摩図書館(泉町)周辺の安全対策

問) 多くの都民が来館。周辺の交通安全対策が必要。図書館隣の日本芸術高等学園前交差点に信号機設置を。また、駅からの点字ブロック等の整備を進め、視覚障害者への配慮を求める。

答) 都や警察署等の関係機関と連携し取り組む

5・ぶんバス(万葉・けやきルート)について
利用者が順調に増加。(現在1日平均で約230人が利用)市の地道な周知の努力を評価。その上で、今後も丁寧な対応を求めました。

パワースポットを活用 してまちの魅力発信を



国分寺政策市民フォーラム 及川 妙子

1. 都立多摩図書館の来館者は1日で平日600人、土日1300人。図書館前の横断歩道が通学路になっているが交通量も増えて危ないので対策をしてほしい。→小金井警察と相談する。

2. 国3・2・8号線のオーバースタップを北側から自転車を通ると左の一通の側道とぶつかる。目隠し板があり見通しが悪い。→東京都と相談する。

3. 待機児童について=今年4月で92名。国分寺市は施設数の充足率は都内ナンバー2だが入園率が低く待機児童も去年から10名しか減っていない。小規模保育所を検討していただけることは一歩前進だ。保育コンシェルジュも導入されるので細かいアフターケアをお願いしたい。

4. 障がい者施策について=(1)職員対応要綱の周知方法は?→要綱に留意事項、状況別の合理的配慮の例、障害種別ごとの特徴を添付した。今年度職員むけの研修会を行う。(2)相談窓口の適正な運用をお願いしたい。(3)障害福祉ガイドブックの評判が良いが一般市民むけのパンフレットも作ってほしい。→東京都が作成した最新のパンフレットを市内施設に配架したりHPに掲載していく。(4)障害者差別解消自立支援協議会を設置してほしい。→情報収集して研究した上で設置の可否について考える。(5)平成30年6月にオープンする地域生活支援拠点の整備について→2つの拠点で面的整備となる。

5. まちの魅力発信について=武蔵国分寺は東西南北を四神に守られた四神相応の地でパワースポットといえる。瓦を埋めて絵を書き「パワー瓦」にしたり、「一葉松」という悲恋物語もあり、パワースポットに松を植えてはいかがか。

6. 防災推進委員会、ごみ減量等推進委員会、防犯まちづくり委員会はボランティア組織だが

活動費の捻出を考えていただきたい。

ハラスメント防止等市の指針 市民に公表を



国分寺政策市民フォーラム 皆川 りうこ

★地域福祉計画～潜在的な課題への取り組み～
皆) 引きこもりに関する連続講座を開催し家族会の立上げを。相談窓口対応のため研修は大事。子ども家庭部長) 市民への理解が進むような講演会を開催する。研修会実施と研修会へ参加。

★性別に起因する暴力や人権侵害の根絶

皆) この10年でDVは5倍以上に増加との新聞報道。子の前での面前暴力は、大人になって加害者になるといわれ世代間連鎖は深刻な問題。時間がかかるが意識改革も重要。市では人権侵害予防の支援として「国分寺市ハラスメント防止等に関する指針」や「男女平等の視点による表現のガイドライン」も作成した。市民にも認識できるように、これら市の取り組みを公表せよ。市民生活部長) 気づきや意識の醸成には役立つ。誤解の無いよう位置づけを説明し公表したい。

★いきいき農園事業～子どもの成長に農業体験は有意義なもの。農・福・教連携で進めよ～

皆) 事業開始6年で初めて障害者ゾーンの申し込みがゼロの理由は?今後、対象範囲の拡大と面積要件の見直しなど条例改正も視野に入れよ。市民生活部長) 現在再募集中。地理的な問題、負担感がある等の理由。抜本的な見直しが必要。

★東日本大震災による避難者への支援継続を

皆) 震災から6年経過し皆さんの生活課題に変化がある。H30迄他減免の期限が定まっている施策については支援の継続を国にも求め、市としても支援せよ。福祉保健部長) 支援策継続は周辺自治体とも連携し、対応を図っていききたい。

★「人材育成実施計画」人事考課等、職員の声も聴き納得される制度構築に向けて取り組み。

皆) 「そうだね、うんうん。」との電話対応は問題ないか?今一度、市として確認と改善を。総務部長) 全庁的な取組で責任ある対応をする。

保護者の教育費軽減を 介護予防を充実せよ



日本共産党国分寺市議団 中山 こう

《就学援助の拡充を》

問) 入学準備金について、①支給額(小40,600円、中47,400円)、②支給時期(現在7月頃支給)ともに、必要となる時期に支給を。

市) ①学用品費の支給とあわせてこのままお願いする、②中学校は今年度から実施するが、小学校は検討を重ねていきたい。

*必要な額を必要な時期に援助できるように、また、制度の周知徹底を求めた。

《在宅人工呼吸器療法患者に対して

非常用発電機等の設置補助を》

問) 難病以外の方への補助が全くされていない。都の補助制度を活用し、災害時等に備える非常用発電機等の設置をすすめるべき。

市) 今年度をめどに、どこまでできるか検討する。把握については関係機関との連携を検討。

*命にかかわる問題。早急な対応を求めた。

《熊野神社通りの安全対策を》

次ページに続く▶

問) 大型工事車両が狭い道路まで進入する際の安全対策を求める。

市) 大型車の通行が規制されている道路。警察の許可状況を調べ、問題があれば指導する。

*警察の許可状況は情報提供がある。道路管理者として、すばやく確認する体制を求めた。

《総合事業で介護予防を後退させるな》

問) あるデイサービスでは「総合事業によってそれまでの専門職による体力維持のための個別指導が要支援の方にはできない」と説明している。介護予防が総合事業によって後退しているのが実態だ。

市) 事業の効果の検証は必要。

*国が介護予防を後退させる取組みを市に押し付けていることは問題だが、市は実態をつかみ、介護予防が後退しない制度構築を。

福祉・くらし・教育施策の充実を



日本共産党国分寺市議団 岡部 宏章

<障害者グループホーム>

岡部：障害者グループホームに対する大変強い切実な要望がある。東元町3丁目にある都府道の活用について都への働きかけを。

答：東京都の所管部局に確認してみたい。

岡部：人材の確保も課題になっている。今後の計画で研修について充実を図るように。

答：計画にしっかりと盛り込んでいきたい。

<今後の国保税、国保制度の位置付け>

岡部：来年度から国保制度の広域化が始まる際に、保険税について再び問われることになる。「国保制度の意義や役割」とは。

答：社会保障制度、社会保険制度を支える重要な制度だと認識している。

岡部：制度の本来の役割をしっかりと果たすためには保険税は値上げするべきではなく、値下げこそ必要だ。広域化後の法定外繰り入れについて、国分寺市独自の事情をきちんと踏まえた上での判断を。

<市教委が学校事務「共同実施」導入を推進>

岡部：学校事務職員やその経験者らは「学校事務職員が学校から引き離されてしまう、現場を直接自分の目で見ていないで仕事をするなどというのはほとんどない」との声。

答：事務職員について「拠点校」以外の「連携校」の会議にも出てほしいという要望は恐らく出てくるだろう。その辺を解決した上で行う。

岡部：他の県では「共同実施」と言っても共同事務室を設けるのではない方法が行われている。文科省が学校事務職員の複数配置に向けた概算要求をした経緯もある。共同実施にみずから踏み出すのではなく、別の道こそ採るべきだ。その他、ぶんバス北町ルートについて、西国分寺駅にアクセスをとの要望を取り上げました。

請願・陳情の提出について

請願・陳情はどなたでも提出できます。

市民の皆様は行政等に対するご要望は、請願・陳情として市議会に提出できます。

請願・陳情はいつでも提出できますが、平成29年第3回定例会(9月1日開会予定)からの審議を希望する方は、は8月14日(月)までに直接議会事務局へご持参ください。

不妊治療助成と西町一丁目ボトルネック解消



自民党新政会 尾澤 しゅう

【教室不足と学区域の変更について】

尾澤→これまで各小中学校における児童生徒数の増加に対する教室不足については学区域の弾力的運用と3億円以上の財源を充てることで対応してきた。しかし、教室を増設するためにグラウンド等を削るのにも限界が来ており、これらの対応の仕方を見直す時期である。国3・2・8号線の全面開通や市内の各学校児童生徒の推移と教室数を勘案し、25年以上変更が行われていない学区域の変更を本格的に検討すべきであり、この問題を次期教育長に取り組んでいただくようにしっかりと引き継いでいただきたい。教育長→指摘の点しっかりと引き継いで参りたい。

【不妊治療への助成について】

尾澤→平成27年度に国分寺市民で東京都特定不妊治療費助成制度の申請の件数は213件。これまでも求めてきている国分寺市の独自不妊治療費の助成についての検討状況はいかがか。

答弁→現在、多摩26市中、8市が市独自の上乗せの助成をおこなっている。高額な医療費がかかるこの特定不妊治療について、少子化への対応と経済的な負担軽減のため医療費助成の重要性は認識している。引き続き具体的な内容を検討していく。

【西町の一丁目ボトルネックについて】

尾澤→西町一丁目の特別養護老人ホーム北側にあるボトルネック解消のためには防衛省の土地を数メートルセットバックしてもらう必要がある。しかし、これまで立川駐屯地での市との協議では当該箇所をセットバックするのは難しいとのこと。安全と福祉の向上のために再度、協議を行い必ずや問題解消していただきたい。

答弁→解消すべく引き続き協議をおこなう。

市民の安心安全と多文化共生について



自民党新政会 田中 政義

1. 国際化施策について

田中) 多文化共生社会の実現に向けて市内在住の外国人、観光等で来訪される外国人に対する施策は共に展開していかなければならないものとする。特に在住外国人に対しては安心・快適に暮らせる取り組みの他に市民の方々との交流等が重要と考えるが如何か。

市民生活部長) 様々な外国人支援事業の他に国際協会等との連携のもと各種イベントの開催を展開し、繋がりを持つ機会を進めている。

田中) 市民の方々との交流によって国分寺市の魅力の発信になると共に、市民の国際意識や他文化への理解にも繋がることと思う。是非今後とも取り組みを進めて頂きたい。

2. 公共施設等における防災訓練について

田中) 各公共施設には子どもが利用するもの、高齢者が多い施設、障がい者が利用するもの等様々な形態がある。施設の形態に即した避難訓練を実施する必要があると考えるが如何か。

総務部長) 各施設の実施状況については、利用

者と共に施設の特性に合わせた避難訓練・防災訓練を行っており、市民の生命を守るという責務から、しっかりと今後も続けて参りたい。

田中) 想定外の事が起こるのも災害の特徴ではないかと思う。少しずつでも考え得ることを訓練に盛り込んで発災時の落ち着いた行動に繋げて頂きたい。

3. 国3・2・8号線について

田中) 多喜窪通りから国3・4・6号線までが交通開放された。全線開通を待ち望んでいるが、残る区間の今後の予定はどうなっているか。建設環境部長) 平成32年3月までの事業認可期間であり用地取得を鋭意進めていると聞く。順次東京都から情報を得て報告していく。

保育園・学童保育所・学校の教室等の増設を!



日本共産党国分寺市議団 幸野 おさむ

幸野) ◆個人情報とプライバシー情報◆の危険な取り扱いを是正すべき。公民館や地域センターなどで、利用団体の会員名簿の提出を求めたのは思想・信条の調査にあたるのではないか。

部長) 団体名簿はセンシティブ情報には該当しない。提出を中止したのは周知不足だったから。

幸野) センシティブ情報という認識がないところが最大の問題。65歳以上の高齢者に対して行われている「高齢者福祉に関するアンケート」についても、個人情報に加え、病歴や経済状況や死生観などプライバシーにかかわる情報を収集しており、極めて危険な状況だ。

部長) この情報収集は高齢者福祉に欠かせない。

幸野) ◆公共施設等総合管理計画◆の前提条件は破たんしている。市の人口は「減少する」ことなく「増加の一途」をたどっており、財政状況も改善している。しかも市の公共施設の一人当たりの面積は全国最下位だ。公共施設を統廃合する計画は全面的に見直すべきだ。

部長) 統廃合でなく、今の水準は維持し、個々の施設を複合化・多機能化、一つに集約することによって経費の節減を図る。必要な施設については、つくらなければいけない認識だ。

幸野) ◆保育園・学童保育所・教室◆第七小学校敷地内に検討している学童保育所は平屋建てでなく2階建てにすべき。そして現本多学童保育所・児童館は建て替えて、児童館・保育所・子育てセンターを併設するよう検討すべき。

部長) 建築条件を確認しなければいけない。面積として制限があるので、平屋建てで考えている。

※その他●第九・第十小学校の教室棟増築の2階建てへの変更●第二小学校の教室増築●スポーツ施設・公園の確保と計画改善●西元町のプレイステーションの恒久化を求めました。

第2回定例会陳情の審議結果

第2回定例会では陳情3件を審議した結果、すべて継続となりました。

《継続となった陳情》

陳情第29-2号 西国分寺駅東口開設を求める陳情

陳情第29-3号 新市庁舎建設に関する文化施設の併設についての陳情

陳情第29-4号 新市庁舎建設に伴う国分寺障害者団体連絡協議会の活動拠点提供に関する陳情

第2回定例会議案審議結果

第2回定例会には新規32件の議案が提出され、同意18件、可決11件、承認2件、推薦1件となりました。

| 議案番号 | 議案名 | 議案の要旨 | 付託先委員会 | 本会議結果 |
|-------|---|--|----------|---------|
| 第28号 | 専決処分について | 国分寺市市税賦課徴収条例について、地方税法の改正に伴い、軽自動車税の税率の特例等に係る規定を整備する必要があり、専決処分したので議会の承認を求める。 | 総務 | 全員賛成・承認 |
| 第29号 | 専決処分について | 国分寺市国民健康保険条例について、地方税法施行令の改正に伴い、国民健康保険税の減額に関する規定を整備する必要があり、専決処分したので議会の承認を求める。 | 厚生 | 全員賛成・承認 |
| 第30号 | 教育委員会教育長の選任について | 国分寺市教育委員会教育長の任期満了に伴い、古屋真宏氏を選任する。 | — | 賛成多数・同意 |
| 第31号 | 農業委員会委員の選任について | 国分寺市農業委員会委員の任期満了に伴い、池谷喜市氏を選任する。 | — | 全員賛成・同意 |
| 第32号 | 農業委員会委員の選任について | 国分寺市農業委員会委員の任期満了に伴い、尾又守氏を選任する。 | — | 全員賛成・同意 |
| 第33号 | 農業委員会委員の選任について | 国分寺市農業委員会委員の任期満了に伴い、金谷こずえ氏を再任する。 | — | 全員賛成・同意 |
| 第34号 | 農業委員会委員の選任について | 国分寺市農業委員会委員の任期満了に伴い、神山弘幸氏を選任する。 | — | 全員賛成・同意 |
| 第35号 | 農業委員会委員の選任について | 国分寺市農業委員会委員の任期満了に伴い、小柳良江氏を選任する。 | — | 全員賛成・同意 |
| 第36号 | 農業委員会委員の選任について | 国分寺市農業委員会委員の任期満了に伴い、佐藤弘氏を選任する。 | — | 全員賛成・同意 |
| 第37号 | 農業委員会委員の選任について | 国分寺市農業委員会委員の任期満了に伴い、真藤秀夫氏を選任する。 | — | 全員賛成・同意 |
| 第38号 | 農業委員会委員の選任について | 国分寺市農業委員会委員の任期満了に伴い、鈴木一雄氏を選任する。 | — | 全員賛成・同意 |
| 第39号 | 農業委員会委員の選任について | 国分寺市農業委員会委員の任期満了に伴い、関口竹人氏を選任する。 | — | 全員賛成・同意 |
| 第40号 | 農業委員会委員の選任について | 国分寺市農業委員会委員の任期満了に伴い、田倉隆行氏を選任する。 | — | 全員賛成・同意 |
| 第41号 | 農業委員会委員の選任について | 国分寺市農業委員会委員の任期満了に伴い、田中豊氏を選任する。 | — | 全員賛成・同意 |
| 第42号 | 農業委員会委員の選任について | 国分寺市農業委員会委員の任期満了に伴い、内藤孝雄氏を選任する。 | — | 全員賛成・同意 |
| 第43号 | 農業委員会委員の選任について | 国分寺市農業委員会委員の任期満了に伴い、濱野周泰氏を再任する。 | — | 全員賛成・同意 |
| 第44号 | 農業委員会委員の選任について | 国分寺市農業委員会委員の任期満了に伴い、本多章雄氏を再任する。 | — | 全員賛成・同意 |
| 第45号 | 農業委員会委員の選任について | 国分寺市農業委員会委員の任期満了に伴い、本橋裕司氏を選任する。 | — | 全員賛成・同意 |
| 第46号 | 監査委員の選任について | 国分寺市監査委員の任期満了に伴い、川畑一良氏を選任する。 | — | 全員賛成・同意 |
| 第47号 | 監査委員の選任について | 国分寺市監査委員の退任に伴い、さの久美子氏を選任する。 | — | 全員賛成・同意 |
| 第48号 | 国分寺市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する条例の一部を改正する条例について | 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の改正に伴い、条例事務に係る情報提供等記録について規定を整備する。 | 総務 | 賛成多数・可決 |
| 第49号 | 国分寺市職員の配偶者同行休業に関する条例について | 職員の継続的な勤務を促進するため、地方公務員法第26条の6に規定する配偶者同行休業に関する事項を規定する新たな条例を制定する。 | 総務 | 全員賛成・可決 |
| 第50号 | 国分寺市職員定数条例の一部を改正する条例について | 定数外の職員に育児休業者、配偶者同行休業者等を追加する。 | 総務 | 全員賛成・可決 |
| 第51号 | 国分寺市男女平等推進条例の一部を改正する条例について | ストーカー行為等の規制等に関する法律の改正に伴い、引用条項を整理する。 | 総務 | 全員賛成・可決 |
| 第52号 | 国分寺市包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について | 介護保険法施行規則の改正に伴い、主任介護支援専門員に関する規定を整備する。 | 厚生 | 全員賛成・可決 |
| 第53号 | 国分寺市義務教育就学児の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例について | 小学1年生から3年生までの児童を養育している者の所得制限を撤廃し、対象者の拡大を図る。 | 文教子ども | 全員賛成・可決 |
| 第54号 | 国分寺市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例の一部を改正する条例について | 子ども・子育て支援法施行令の改正に伴い、ひとり親世帯等及び多子世帯の利用者負担額に係る特例措置を拡充する。 | 文教子ども | 全員賛成・可決 |
| 第55号 | 国分寺市市道における道路標識の寸法に関する条例の一部を改正する条例について | 道路標識、区画線及び道路表示に関する命令の改正に伴い、文言を整理する。 | 建設環境 | 全員賛成・可決 |
| 第56号 | 平成29年度国分寺市一般会計補正予算（第1号） | 歳入歳出予算の総額に2億4,482万9千円を増額し、歳入歳出それぞれ498億3,293万5千円とする。 | 補正予算審査特別 | 全員賛成・可決 |
| 第57号 | 平成29年度国分寺市国民健康保険特別会計補正予算（第1号） | 歳入歳出予算の総額に202万5千円を増額し、歳入歳出それぞれ125億5,305万9千円とする。 | 厚生 | 賛成多数・可決 |
| 第58号 | 財産の譲渡について | 民地内に設置した雨水浸透ますの適正な維持管理を図るため、使用者に無償譲渡する。 | 建設環境 | 全員賛成・可決 |
| 推薦第1号 | 東京都後期高齢者医療広域連合議会議員選挙候補者の推薦について | 東京都後期高齢者医療広域連合議会議員選挙候補者に星いつろう議員を推薦する。 | | |

議案に対する議員の表決状況（賛否の分かれたもの）

| 議案名 | 会派名 | | 自民党新国会 | | | | | | | フォーラム | | | 公明党 | | 共産党 | | ネット | | 無 | | | | | | | | |
|--|-----|--|--------|--------|------|------|-------|------|-------|-------|------|-------|-------|-----|-------|-------|-------|--------|-------|------|------|-------|-------|-------|------|-------|---|
| | 議員名 | | 丸山哲平 | 吉田りゅうじ | 尾作義明 | 田中政義 | 本橋たくみ | 新海栄一 | 尾澤しゅう | 須崎宏 | 及川妙子 | だて淳一郎 | 星いつろう | 木村徳 | 皆川りうこ | さの久美子 | なのおの克 | 高橋りょう子 | 木島たかし | 岡部宏章 | 中山ごう | 幸野おさむ | 高瀬かおる | 秋本あすか | 岩永康代 | 甲斐よしと | |
| 議案第30号 教育委員会教育長の選任について | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第48号 国分寺市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する条例の一部を改正する条例について | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議長 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × | × | × | ○ | ○ |
| 議案第57号 平成29年度国分寺市国民健康保険特別会計補正予算（第1号） | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

・表決（○=賛成 ×=反対）
 ・会派名（フォーラム=国分寺政策市民フォーラム、共産党=日本共産党国分寺市議団、ネット=国分寺・生活者ネットワーク、無=無会派（無所属））

請願・陳情の提出については議会事務局調査担当（042）325-0111（内線581）までお問い合わせください。

議会人事構成一覧表（平成29年6月19日現在）

議長 = 木村 徳 副議長 = 田中 政義 監査委員 = さの 久美子

1. 常任・特別委員会委員等名簿

| 名 称 | 委 員 名 (◎委員長 ○副委員長) | 所管事務 |
|--|--|---|
| 議会運営委員会 | ◎ なおの 克 中山 ごと 及川 妙子 甲斐 よしと ○ 高瀬 かおる 尾作 義明 本橋 たくみ 木島 たかし | 議会の運営に関する事項、議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項、議長の諮問に関する事項及び議会報に関すること |
| 常任委員会 | ◎ 尾澤 しゅう 高瀬 かおる 中山 ごと ○ 及川 妙子 尾作 義明 さの 久美子 | 政策部、総務部、市民生活部、会計管理者、選挙管理委員会、監査委員、農業委員会及び固定資産評価審査委員会の所管に関することや、他の所管に属さないこと |
| | ◎ 高橋 りょう子 甲斐 よしと 星 いつろう ○ 岡部 宏章 新海 栄一 須崎 宏 | 福祉保健部の所管に属すること |
| | ◎ 皆川 りうこ 秋本 あすか 田中 政義 ○ 丸山 哲平 木村 徳 木島 たかし | まちづくり部、建設環境部の所管に属すること |
| | ◎ 岩永 康代 幸野 おさむ だて 淳一郎 ○ 吉田 りゅうじ なおの 克 本橋 たくみ | 子ども家庭部、教育委員会の所管に属すること |
| 特別委員会 | ◎ 新海 栄一 岡部 宏章 岩永 康代 及川 妙子 ○ だて 淳一郎 甲斐 よしと 尾作 義明 田中 政義 なおの 克 木島 たかし 須崎 宏 | 国分寺駅周辺市街地の再開発整備等に関する調査及び対策を図ること |
| | ◎ 中山 ごと 高瀬 かおる 秋本 あすか 丸山 哲平 ○ 本橋 たくみ 吉田 りゅうじ 幸野 おさむ 星 いつろう さの 久美子 皆川 りうこ 高橋 りょう子 尾澤 しゅう | 公共建築物、道路・下水道などのインフラ及び市庁舎の今後の整備やあり方等、総合管理に関する調査及び対策を図ること |
| このほか、当初予算について議長を除く全議員で構成する「予算特別委員会」を第1回定例会に設置、前年度の決算について議長及び議員選出の監査委員を除く全議員で構成する「決算特別委員会」を第3回定例会に設置、一般会計及び土地取得特別会計の補正予算を審査する「補正予算審査特別委員会」を必要に応じて設置します。 | | |
| 代表者会議 | (議長) 木村 徳 尾澤 しゅう さの 久美子 高瀬 かおる (副議長) 田中 政義 皆川 りうこ 中山 ごと 甲斐 よしと | 会派間の意見調整その他議会運営上必要と認める事項について協議又は調整すること |

2. 一部事務組合等議会議員名簿

| 名 称 | 議員名 | 担当する仕事及び組織 |
|------------------|-------------------------------|--|
| 東京都十一市競輪事業組合議会議員 | 木島 たかし・須崎 宏 | 自転車競走を行うため、国分寺、八王子、武蔵野、青梅、昭島、調布、町田、小金井、小平、日野、東村山の11市で組織された組合の議会の議員 |
| 東京都四市競艇事業組合議会議員 | 木島 たかし・須崎 宏 | モーターボート競走を行うため、国分寺、小平、日野、東村山の4市で組織された組合の議会の議員 |
| 東京たま広域資源循環組合議会議員 | 田中 政義 | 廃棄物の最終処分場の設置、管理及び焼却残さ等の処理に関する事務を共同処理するため25市1町で組織された組合の議会の議員 |
| 浅川清流環境組合議会議員 | 岩永 康代・及川 妙子 本橋 たくみ・高橋 りょう子 | ごみ処理施設を共同で設置・運営等するため、国分寺、日野、小金井の3市で組織された組合の議会の議員 |

3. その他の委員会委員等名簿

| 名 称 | 議員名 |
|---------------------|---|
| 東京都国分寺市土地開発公社監事 | 新海 栄一 |
| 国分寺市都市計画審議会委員 | 秋本 あすか・岡部 宏章・丸山 哲平・甲斐 よしと・星 いつろう・木島 たかし |
| 三鷹・立川間立体化複々線促進協議会委員 | 木村 徳・皆川 りうこ |
| 三多摩上下水及び道路建設促進協議会委員 | 第1(水道) 丸山 哲平・第2(下水道) 秋本 あすか・第3(道路) 皆川 りうこ |
| 東京河川改修促進連盟委員 | 全 議 員 |

議員選出監査委員は、
さの議員に

さの久美子議員

5月10日開催の第2回定例会において、議員選出監査委員にさの久美子議員（公明党、3期目）を選任する議案が市長から提案され、全員賛成で同意しました。

会派の変更について

会派代表者の変更
会派名：国分寺政策市民フォーラム
代表者：皆川りうこ

会派構成の変更
6月15日付けで、木村徳議員が会派（国分寺政策市民フォーラム）から離脱し、「無会派」となりました。

国分寺市議会の委員会

「本会議」と「委員会」

市長が提案する条例、予算などの議案や、市民の皆様が提出された陳情等に対する国分寺市議会の意思（可決、否決など）は、全議員で行う「本会議」で審議し決定します。この本会議における審議の予備的審査や調査を行うための機関として設置される議会の内部組織が「委員会」です。

国分寺市議会の特徴 一委員会中心主義一

国分寺市議会では、市長から提案される議案等はすべて委員会に付託し（人事案件等一部の議案は除く）、各委員会にて、市より詳細な説明を受け、慎重に審査を行ったのちに、本会議で国分寺市議会の意思を決定しています。国分寺市議会では委員会審査中心の運営を行っており、平成27年の委員会審査時間は、常任及び特別委員会の合計で約320時間となっています。多摩26市の平均約118時間と比較しても国分寺市議会の委員会中心主義は顕著であり、国分寺市議会の特徴と言えます。代表者会議を含めすべての委員会等は公開していますので、是非傍聴にお越しください。

委員会等の構成

委員会には、常設の組織である「常任委員会」「議

会運営委員会」「代表者会議」と、特定の事柄を集中的に審査するために設置される「特別委員会」があります。（上の表「1. 常任・特別委員会委員等名簿」参照）

各委員会等の役割

「常任委員会」は、各委員会の所管事務に関する議案や所管事務の調査、請願・陳情等の審査を行います。国分寺市議会には4つの常任委員会があり、議員は4つの常任委員会の中のいずれか一つに所属しています。

「議会運営委員会」は、議会運営全般の事項の協議、調整と、議会だよりの編集等を行う委員会です。

「代表者会議」は、議長、委員長をはじめとする議会内の役職、各議員が所属する委員会等の議会人事や議会運営に係る経費等について協議、調整を行う会議で、議長、副議長、各会派の代表者及び無会派から選出された議員で構成されています。

「特別委員会」は、特定の事柄を集中的に審査するために設置される委員会であり、国分寺市議会では現在「国分寺駅周辺整備特別委員会」と「公共施設等総合管理特別委員会」が設置されており、さらに予算、決算、一般会計補正予算を審査するためにその都度特別委員会を設置しています。